

事業所名		多機能型事業所みのり	公表日 令和7年 6月 25日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に応じて児童が利用するスペースを分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		必要に応じて職員を増員し、適切な配置数となるよう調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		「見て理解すること」が得意な子どもたちが理解し、自発的な行動ができるよう一日のスケジュールや遊びのルールなど図やイラストで表示し、視覚支援を行っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃及びアルコール消毒を徹底しています。また、空気清浄機を設置し、室内の除菌、感染症拡大の防止に取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子ども達が落ち着く事のできる部屋を用意し、クールダウンや集中して学習等に取り組む事のできる環境を用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		週に1度、職員全員参加型の職員会議で話し合いの場を設けています。業務改善に向けて情報共有、意見交換等を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回の自己評価結果の公表前に保護者様にアンケートを行い、ご家族のご意見を元に職員間で認識共有、改善を図るようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議、職員研修の議題に『日々の出来事』という議題を作り、職員からの子ども達の支援に対する悩みや疑問、業務に関する不安などを出し合い、話し合いができるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現時点では、第三者委員会などの外部機関とつながっていません。今後、機会があれば繋がりをもち、対応したいと考えます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員は社外研修の案内をいつでも見ることができ、希望があれば受講が可能です。社内でも様々なテーマで研修が行われています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年間療育計画として一年を通しての療育活動、季節行事、イベントの内容をまとめ、職員間で周知しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		契約時の面接、個別支援計画書更新時に子ども一人ひとりの発達や成育歴、生活環境、ご家族のニーズなどを丁寧に聞き取り、アセスメントの作成を行い、それを元に個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		面談での内容を全職員へ周知し、必要に応じて職員会議でも伝えるようにしている。また、全職員で意見や気づきを出し合い、話し合う機会を設けています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員が各自で個別支援計画を読み、支援を行っています。不明な点などは児童発達支援管理責任者への確認や職員会議で話し合いをしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		「フェイスシート」を使った保護者からの聞き取りを基にしたアセスメント、半年の発達の様子を記録する「育成経過」と合わせて、日々の記録を現場職員が複数の手で記録し、子どもの発達状況やその日の様子が分かるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子ども達が育つ力をつける内容とそれを実践する為に必要な留意点を子ども一人ひとりの発達状況やご家族の状況、地域資源の状況に応じて作成しています。	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		季節行事や日々の療育内容なそれぞれの担当者がプログラム内容と日案を立てて提供している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		運動、音楽、感覚、造形等、様々な療育目標で分けて活動内容を決定しています。その他、SSTトレーニングの導入もしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		毎日のプログラムに集団療育と個別療育が組み込まれ、個別支援計画に沿った療育提供をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に利用児童や職員の出勤者の確認、送迎ルートの確認、その日の活動の留意点など確認・共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間で一日の振り返りや翌日以降の療育内容について意見交換・共有の時間を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録を職員が日誌に記録し、子どもの発達状況やその日の様子を把握・共有できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年間に1度、個別支援計画の見直し及び更新をしています。その際、職員会議にてモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った支援が提供できているか、その療育内容について職員間で話し合う機会を設けています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		おやつ、個別療育時に（文字練習、学習プリント、微細トレーニング等）の内容についてご自身で選択できる環境を提供しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が連携を図っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		幼稚園や保育所、こども園、西部療育センターなど各関係機関に年度初めに挨拶の電話を入れ、いつでも連携が始められる体制づくりをしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		毎月の学校だよりの確認、行事による下校時間の変更やお迎え場所等、送迎に関して不明点等があれば情報の確認、共有をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		障害特性や状況把握、普段の児童の様子など、不明点があれば電話にて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		支援者会議にてこれまでの児童の様子や対応策、障害特性等の情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		兵庫区役所、神戸市社会福祉協議会等が開催する研修会への参加など連携を図れる体制を整えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現時点では、地域の児童福祉施設との繋がりはありません。今後、機会があれば繋がりをもち、対応したいと考えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		定期的に自立支援協議会へ参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		適時、電話やLINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等あればその場で答えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談だけではなく、電話やLINE等でも相談を受け付けており、支援方法などを提案しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会や兄弟同士の交流する機会は設けたことがないため、今後必要であれば検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		主にLINEを使用し、行事予定や活動概要を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類等はすべて鍵付きの書庫に保管しています。 棄書類等はゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今後保護者からの要望があれば、検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定しており、定期的に研修も行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		薬等の必要な子どもの保護者より、状況を共有し確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在、対象となる利用者はいません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が起こった際ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に務めます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		身体拘束当禁止における指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明します。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しています。	